

《秋学期追加募集！》

明治大学大学院 2019 年度日本語論文指導講座について 【大学院外国人留学生対象】

明治大学大学院では、本大学院（専門職大学院は含まない。）に在籍する留学生を対象に、「2019 年度日本語論文指導講座」を開講します。受講料はかかりません（無料）。論文を書くのに必要な日本語の基礎を修得する絶好の機会です。下記要領に従って、どうぞ奮ってお申し込みください。

1. 講座概要

(1) 講座の目的

本講座は、学術論文を執筆するのに必要な「日本語」能力の向上を目的としています。

(2) 受講対象

明治大学大学院（専門職大学院は含まない。）に在籍する外国人留学生で、JLPT：「N1」レベル又はそれに相当するレベルの日本語能力を有する方。

【備考1】 過去に本講座を受講した方も再受講できます。

【備考2】 科目等履修生及び聴講生は対象外です。

(3) 受講定員

各クラスの定員は、原則 20 名とします。

申込者が受講定員を超過した場合には、次の基準で各クラスの受講者を決定します。

- 1 博士前期課程・修士課程 2 年生及び博士後期課程の在籍生を優先します。
- 2 過去に本講座を受講した方は、受講優先順位を最も低く設定します。
- 3 上記基準 1, 2 を適用しても決定できない場合は、抽選で受講者を決定します。

(4) 授業時間・回数

1 回の授業は 100 分間です。毎週 1 回、全 11 回（予定）実施します。

(5) 講師

【駿河台】上品 和馬 先生：早稲田大学日本語教育研究センター インストラクター（非常勤講師）

【和泉】宮島 京子 先生：ABK 学館日本語学校 非常勤講師

(6) 講座内容

学術論文を書くのに必要な日本語能力の向上に資する内容を扱います。

具体例 「論文に適した文体・表現、誤用の多い表記・語彙・文法」「課題・目的・結論の提示」
「定義・分類・変化・対比・比較・列挙・引用・帰結の表現」「図表の提示」
「原因の考察・同意と反論・結論の表現」など

(7) 授業の進め方

各回、独立したテーマを設定して授業を行います。また、各回の講義内容が定着するように、毎回 30 分程度で作成できる課題が与えられる予定です。

(8) 教材

『改訂版 大学・大学院留学生の日本語④ 論文作成編』

（アカデミック・ジャパンーズ研究会 編著：アルク 1,944 円 税込）

○ 教材は、受講が決定した後、初回授業までに各自で購入してください。

○ 教材は、駿河台・和泉・中野キャンパスの書籍部で購入できます。（購入費は自己負担）

(9) 受講料等

講座の受講料はかかりません。（教材費は、各自でご負担いただきます。）

2. 開講クラス・スケジュール等

キャンパス	開講期	曜日・時限	授業実施日（全11回）	場所
駿河台	秋	火曜1時限	9/24, 10/1, 10/8, 10/15, 10/29, 11/12, 11/19, 11/26, 12/3, 12/10, 12/17	グローバルフロント11階 411B 教室
和泉	秋	火曜1時限	9/24, 10/1, 10/8, 10/15, 10/29, 11/12, 11/19, 11/26, 12/3, 12/10, 12/17	第一校舎2階 207 教室

* 1時限目は9:00~10:40です。

* 授業の内容はキャンパス・開講期を問わず同一ですが、登録されたクラス以外の授業を受けることはできません。（振替受講はできません。）

3. 受講申込

★ 申し込む前に、必ず、**指導教員に相談し、承認を得てください。**

【申込期限】 **9月13日（金）13:00** ★期限厳守。左記の日時を過ぎた場合は、受け付けられません。

【申込先】 **dai_in@mics.meiji.ac.jp**（**■を@に置き換えてください。**）

【申込方法】 タイトルを「**日本語論文指導講座申込**」として、
次の①~⑤の事項を記載したメールを上記アドレス宛に送ってください。

① 所属研究科

② 学生番号

③ 氏名

④ メールアドレス

⑤ 受講希望クラス（第1希望、第2希望）

* 受講できるのは1クラスのみですが、
第2希望まで申請することができます。

【受講希望クラスの記入例】

・第1希望：「和泉，秋，火曜1時限」

・第2希望：「駿河台，秋，火曜1時限」

4. 受講決定通知

- 受講の可否及び決定クラスは、9月19日（木）までに、メールで通知します。
- 受講が決定した方は、初回授業までに、1.(8)「教材」を各自、購入してください。

5. その他

- 本講座は、大学院の正規課程の授業科目ではないので、**単位の付与はありません。**
- 安易な申込みは控えてください。申し込んだ以上は、やむを得ない場合を除き、欠席しないようにしてください。
- 日本語で論文を書くには、一定の期間継続して、学習及び練習することが不可欠です。
本講座に**毎回出席して、“最後まで受講する”**よう頑張ってください。

以上